

わたしたちのまちの 景況レポートNo.9

淡路信用金庫事業地区内の経営者の皆様にご協力いただき、2017 年 1～3 月期の景気の現状と 2017 年 4～6 月期の見通しを調査いたしました。

<調査概要>

1. 調査対象期間：2017 年 1 月～3 月実績 2017 年 4 月～6 月見通し
2. 調査方法：営業店調査員による共通の調査表に基づく「聴取り」調査
3. 標本数：531 企業（有効回答数 531 企業 回答率 100%）
 ※今回の調査より、調査ご協力先を従来の 321 社から 531 社に増加いたしました。
 ※有効回答数のうち従業員数 20 人未満の企業が占める割合は 82.1%
4. 分析方法：各質問項目について、「増加」（良い）－「減少」（悪い）の構成比の差＝判断 D.I. に基づく分析
5. 業種別、地区別回答数

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	地区合計
淡路地区	64	49	69	59	71	19	331
神明地区	65	25	17	29	44	20	200
業種合計	129	74	86	88	115	39	531

6. 調査地区：淡路信用金庫の事業地区
 洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、尼崎市、
 加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市



わたしたちのマチの景況レポート No. 9

(2017 年 1～3 月期実績 2017 年 4～6 月期見通し)

特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

【業種別天気図】

業種	全事業地区			淡路地区			神明地区		
	2016年 10～12月	2017年 1～3月	2017年 4～6月 (見通し)	2016年 10～12月	2017年 1～3月	2017年 4～6月 (見通し)	2016年 10～12月	2017年 1～3月	2017年 4～6月 (見通し)
総 合									
製 造 業									
卸 売 業									
小 売 業									
サービス業									
建 設 業									
不 動 産 業									

【業況判断 D.I.時系列表】

業種	実績										見通し
	2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
全事業地区											
総合	-10.8	-0.6	-6.4	-3.8	-8.0	-16.1	-12.1	-8.4	-9.8	-10.6	
製造業	-13.5	-5.6	-22.2	-1.4	1.4	-11.1	-11.3	-9.9	-6.3	-3.9	
卸売業	-34.7	4.3	-4.3	-10.6	-13.6	-26.7	-17.8	-9.1	-6.8	-2.7	
小売業	-23.9	-25.5	-31.9	-21.3	-25.0	-44.7	-29.8	-19.1	-20.9	-29.1	
サービス業	1.9	15.4	19.2	5.8	-18.0	-17.0	-1.9	-5.7	-19.3	-15.9	
建設業	12.0	10.3	6.0	5.9	0.0	-1.5	-5.9	-3.0	0.0	-9.6	
不動産業	-6.5	-9.7	0.0	-9.7	3.3	0.0	-9.7	-3.3	-10.3	2.6	
淡路地区											
総合	-12.9	-8.3	-11.1	-9.7	-16.0	-19.8	-14.3	-13.6	-21.8	-19.7	
製造業	-25.0	-14.3	-18.6	-2.3	-14.0	-14.0	-7.0	-7.0	-30.2	-14.3	
卸売業	-24.2	0.0	0.0	-3.1	-10.0	-22.6	-9.7	-20.0	-18.4	-4.1	
小売業	-20.0	-31.7	-36.6	-29.3	-28.6	-46.3	-34.1	-19.5	-29.0	-34.8	
サービス業	5.1	15.4	15.4	-2.6	-16.7	-12.8	-2.6	-15.4	-27.1	-20.3	
建設業	-2.3	-6.7	-15.9	-8.9	-11.4	-8.9	-20.0	-14.0	-7.0	-26.8	
不動産業	-11.1	-11.1	0.0	-11.1	-11.8	-11.1	-5.6	0.0	-15.8	5.3	
神明地区											
総合	-11.9	16.2	4.2	8.9	9.1	-8.0	-7.1	3.1	10.0	4.5	
製造業	3.3	-5.6	-27.6	0.0	24.1	-6.9	-17.9	-14.3	16.9	6.2	
卸売業	-56.3	14.3	-14.3	-26.7	-21.4	-35.7	-35.7	14.3	16.0	0.0	
小売業	-50.0	16.7	0.0	33.3	0.0	-33.3	0.0	-16.7	11.8	-5.9	
サービス業	-7.7	15.4	30.8	28.6	-21.4	-28.6	0.0	21.4	-3.4	-6.9	
建設業	39.1	43.5	47.8	34.8	21.7	13.0	21.7	17.4	11.4	18.2	
不動産業	0.0	-7.7	0.0	-7.7	23.1	15.4	-15.4	-8.3	-5.0	0.0	

全業種総合

業 況

今期（17 年 1～3 月期）の業況判断 D. I. は△9.8 と前期（16 年 10～12 月期）比 1.4 ポイント低下した。業種別ではサービス業で前期比 13.6 ポイント低下の△19.3 と最も大きく低下した。地区別では淡路地区で同 8.2 ポイント低下の△21.8 となる一方、神明地区では同 6.9 ポイント改善の 10.0 と、地区間で差が見られた。

来期（17 年 4～6 月期）の予想業況判断 D. I. は△10.6 と今期実績比 0.8 ポイントの低下見通しとなった。業種別では、建設業で△9.6、同 9.6 ポイントの低下見通しと慎重な様子である。一方、不動産業で 2.6 と同 12.9 ポイント改善し、プラスに転じる見通しとなっている。

前年同期比の売上額判断 D. I. は△7.9 と前期比 7.9 ポイント改善、同収益判断 D. I. は△10.2 と 3.9 ポイント改善した。なお、前期比売上額判断 D. I. は△15.3 と前期比 13.4 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△17.3 と同 11.8 ポイント低下した。

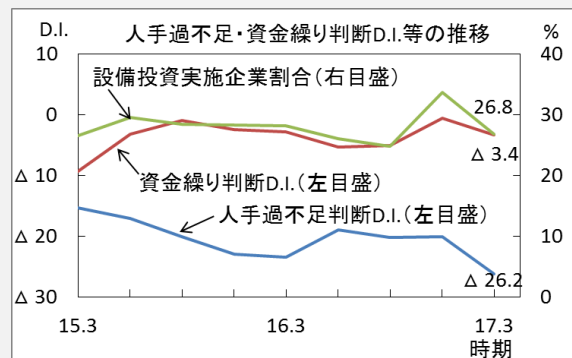
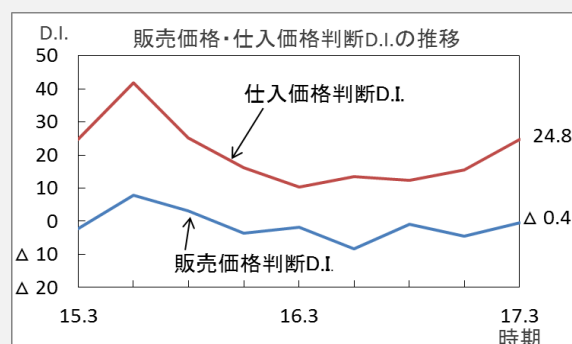
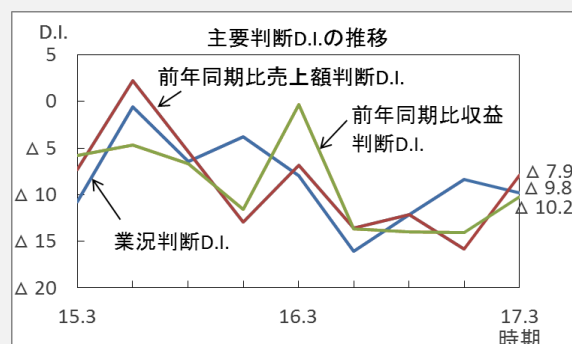
販売価格判断 D. I. は△0.4 と前期比 4.1 ポイント上昇、仕入価格判断 D. I. は 24.8 と前期比 9.2 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は△26.2（前期は△20.1）となり、人手不足感は強まった。

資金繰り判断 D. I. は△3.4 と前期比 2.8 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 26.8%と前期比 6.9 ポイント低下した。

図 表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-8.4	-9.8	-10.6
売上額(前期比)	-1.9	-15.3	-4.9
売上額(前年同期比)	-15.8	-7.9	
収益(前期比)	-5.5	-17.3	-6.6
収益(前年同期比)	-14.1	-10.2	
販売価格(前期比)	-4.5	-0.4	-4.0
仕入価格(前期比)	15.6	24.8	19.1
人手過不足(過剰－不足)	-20.1	-26.2	-24.1
資金繰り(楽－苦)	-0.6	-3.4	-4.0
設備投資割合(%)	33.7	26.8	24.7

製造業

業況

今期の業況判断 D. I. は△6.3 と前期比 3.6 ポイント改善した。地区別では、淡路地区は△30.2 と同 23.2 ポイントの大幅低下となった。一方、神明地区は 16.9 と同 31.2 ポイントの大幅改善となった。

来期の予想業況判断 D. I. は△3.9 と今期実績比 2.4 ポイントの改善見通しとなった。地区別では、神明地区は同 10.7 ポイント低下するも 6.2 と依然プラスを維持する見通しとなった。

前年同期比売上額判断 D. I. は△3.1 と前期比 6.8 ポイント改善、同収益判断 D. I. は△6.3 と同 7.8 ポイント改善した。なお、前期比売上額判断 D. I. は△12.4 と前期比 16.6 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△10.9 と同 12.3 ポイント低下した。

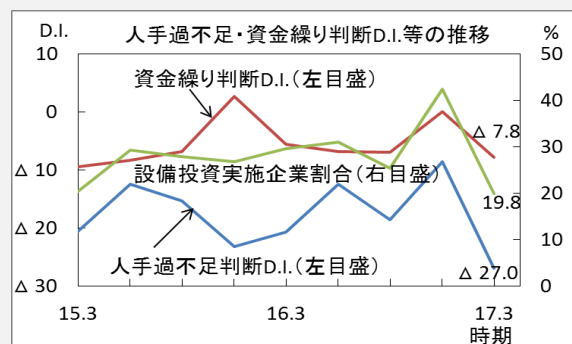
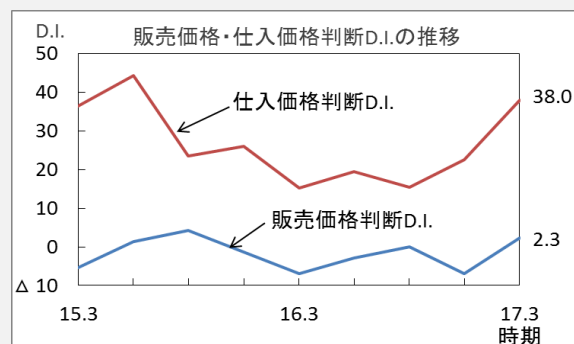
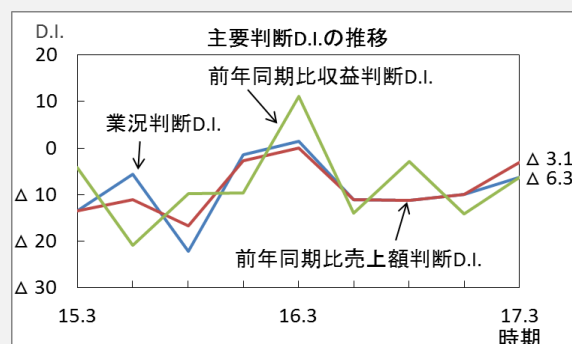
販売価格判断 D. I. は 2.3 と前期比 9.3 ポイント上昇し、仕入価格判断 D. I. は 38.0 と前期比 15.5 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は△27.0（前期は△8.6）と前期比 18.4 ポイント低下し、人手不足感は強まった。地区別では、神明地区で△29.0（前期は 11.1）と前期比 40.1 ポイントの大幅低下となり、人手「過剰」から「不足超」に転じた。

資金繰り判断 D. I. は△7.8 と前期比 7.8 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 19.8%と、前期比 22.5 ポイント低下した。

図表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-9.9	-6.3	-3.9
売上額(前期比)	4.2	-12.4	0.8
売上額(前年同期比)	-9.9	-3.1	
収益(前期比)	1.4	-10.9	1.6
収益(前年同期比)	-14.1	-6.3	
販売価格(前期比)	-7.0	2.3	-3.9
仕入価格(前期比)	22.5	38.0	29.7
人手過不足(過剰－不足)	-8.6	-27.0	-23.0
資金繰り(楽－苦)	0.0	-7.8	-12.5
設備投資割合(%)	42.3	19.8	22.2

卸売業

業況

今期の業況判断 D. I. は△6.8 と前期比 2.3 ポイント改善した。改善は 3 四半期連続である。地区別では、神明地区は 16.0 と同 1.7 ポイント改善した。

来期の予想業況判断 D. I. は△2.7 と今期実績比 4.1 ポイントの改善見通しとなった。地区別では、淡路地区で△4.1 と同 14.3 の改善見通しとなる一方、神明地区で 0.0 と同 16.0 ポイントの低下見通しとなった。

前年同期比売上額判断 D. I. は△8.1 と前期比 1.3 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△4.1 と同 8.6 ポイント低下した。なお、前期比売上額判断 D. I. は△29.7 と前期比 27.4 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△27.0 と同 22.5 ポイント低下した。

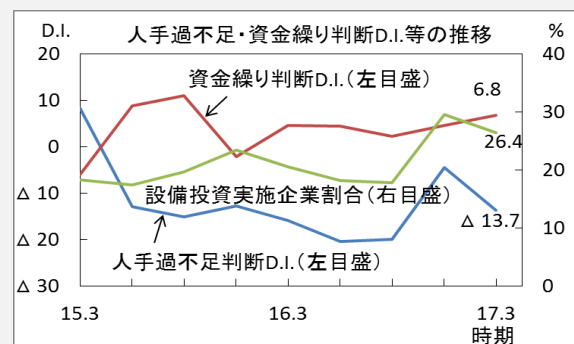
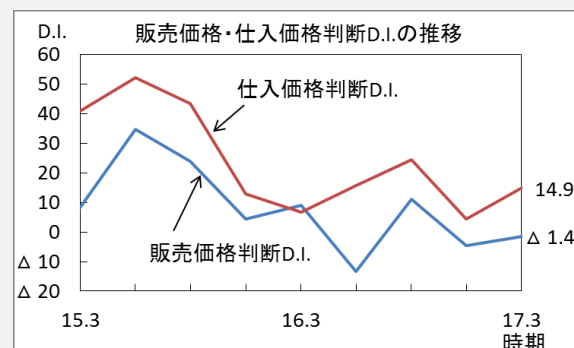
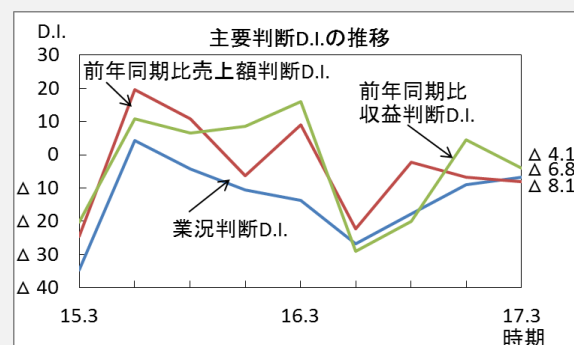
販売価格判断 D. I. は△1.4 と前期比 3.1 ポイント上昇、仕入価格判断 D. I. は 14.9 と同 10.4 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は△13.7（前期は△4.5）と、前期比 9.2 ポイント低下し人手不足感は強まった。

資金繰り判断 D. I. は 6.8 と前期比 2.3 ポイント改善した。

設備投資実施企業割合は 26.4%と前期比 3.1 ポイント低下した。

図表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-9.1	-6.8	-2.7
売上額(前期比)	-2.3	-29.7	5.4
売上額(前年同期比)	-6.8	-8.1	
収益(前期比)	-4.5	-27.0	6.8
収益(前年同期比)	4.5	-4.1	
販売価格(前期比)	-4.5	-1.4	-1.4
仕入価格(前期比)	4.5	14.9	2.7
人手過不足(過剰－不足)	-4.5	-13.7	-20.5
資金繰り(楽－苦)	4.5	6.8	8.1
設備投資割合(%)	29.5	26.4	22.5

小売業

業 況

今期の業況判断 D. I. は△20.9 と前期比 1.8 ポイント低下し、全業種の中で最も低かった。地区別では、淡路地区で△29.0 と同 9.5 ポイント低下した一方、神明地区で 11.8 と同 28.5 ポイントの大幅改善となりプラスに転じた。

来期の予想業況判断 D. I. は△29.1 と今期実績比 8.2 ポイントの低下見通しとなった。地区別では両地区で低下見通しとなっており、とりわけ神明地区では△5.9 と同 17.7 ポイント低下しマイナスに転じる見通しである。

前年同期比売上額判断 D. I. は△16.3 と前期比 32.6 ポイント改善、同収益判断 D. I. は△25.6 と同 17.0 ポイント改善した。なお、前期比売上額判断 D. I. は△22.1 と前期比 5.1 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△32.6 と同 13.5 ポイント低下した。

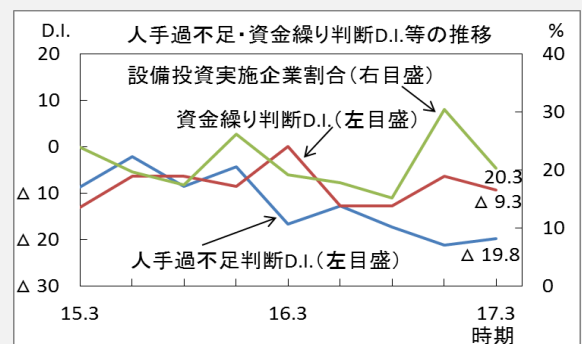
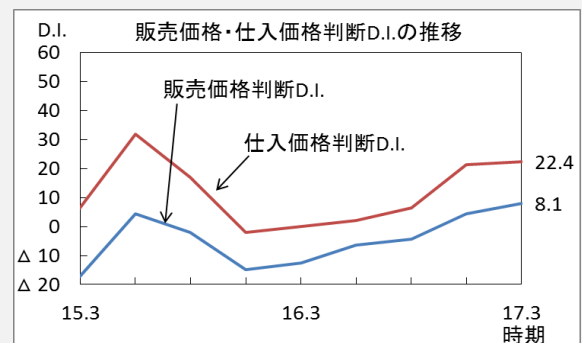
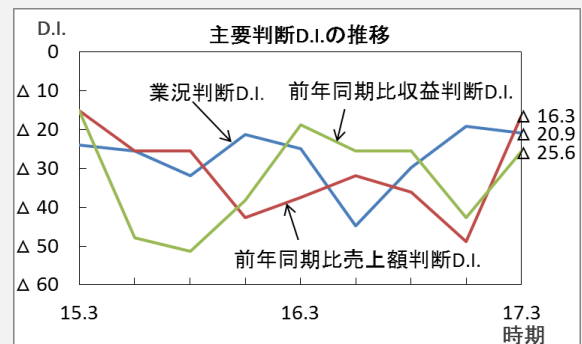
販売価格判断 D. I. は 8.1 と前期比 3.8 ポイント上昇、仕入価格判断 D. I. は 22.4 と同 1.1 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は△19.8（前期は△21.3）と前期比 1.5 ポイント改善し、人手不足感は一服した。

資金繰り判断 D. I. は△9.3 と前期比 2.9 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 20.3%と前期比 10.1 ポイント低下した。

図 表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-19.1	-20.9	-29.1
売上額(前期比)	-17.0	-22.1	-15.3
売上額(前年同期比)	-48.9	-16.3	
収益(前期比)	-19.1	-32.6	-21.2
収益(前年同期比)	-42.6	-25.6	
販売価格(前期比)	4.3	8.1	5.9
仕入価格(前期比)	21.3	22.4	15.3
人手過不足(過剰－不足)	-21.3	-19.8	-21.4
資金繰り(楽－苦)	-6.4	-9.3	-7.1
設備投資割合(%)	30.4	20.3	20.5

サービス業

業 況

今期の業況判断 D. I. は△19.3 と前期比 13.6 ポイント低下した。地区別では、両地区で低下となり、とりわけ神明地区では△3.4 と同 24.8 ポイントの低下し、マイナスに転じた。

来期の予想業況判断 D. I. は△15.9 と、今期実績比 3.4 ポイントの改善見通しとなった。地区別では淡路地区で△20.3 と、6.8 ポイントの改善見通しとなる一方、神明地区で△6.9 と、3.5 ポイントの低下見通しとなった。

前年同期比売上額判断 D. I. は△1.1 と前期比 8.3 ポイント改善、同収益判断 D. I. は△6.9 と同 4.4 ポイント改善した。なお、前期比売上額判断 D. I. は△19.3 と前期比 21.2 ポイント低下、同収益判断 D. I. は△21.6 と同 19.7 ポイント低下した。

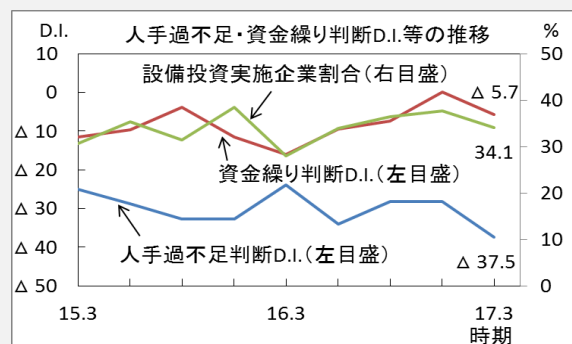
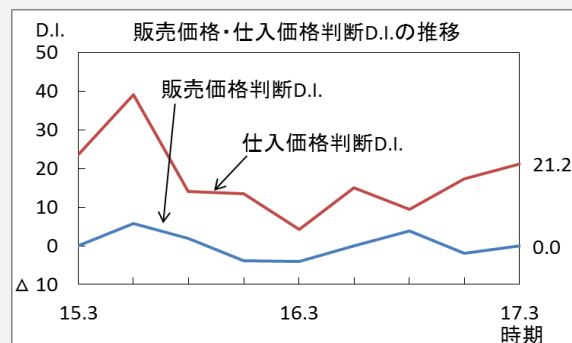
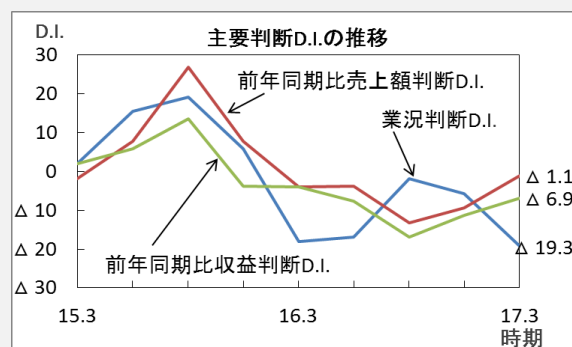
販売価格判断 D. I. は 0.0 と前期比 1.9 ポイント上昇、仕入価格判断 D. I. は 21.2 と同 3.9 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は△37.5（前期は△28.3）と前期比 9.2 ポイント低下し、人手不足感は全業種の中で最も強い。

資金繰り判断 D. I. は△5.7 と前期比 5.7 ポイント低下した。

設備投資実施企業割合は 34.1%と前期比 3.6 ポイント低下した。

図 表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-5.7	-19.3	-15.9
売上額(前期比)	1.9	-19.3	5.7
売上額(前年同期比)	-9.4	-1.1	
収益(前期比)	-1.9	-21.6	1.1
収益(前年同期比)	-11.3	-6.9	
販売価格(前期比)	-1.9	0.0	-3.4
仕入価格(前期比)	17.3	21.2	18.8
人手過不足(過剰－不足)	-28.3	-37.5	-34.1
資金繰り(楽－苦)	0.0	-5.7	-5.7
設備投資割合(%)	37.7	34.1	27.1

建設業

業 況

今期の業況判断 D. I. は 0.0 と前期比 3.0 ポイント改善した。地区別では、淡路地区は $\Delta 7.0$ と前期比 7.0 ポイント改善した。一方、神明地区は 11.4 と前期比 6.0 ポイント低下したものの、依然プラス水準を維持している。

来期の予想業況判断 D. I. は $\Delta 9.6$ と今期実績比 9.6 ポイントの低下見通しとなっている。地区別では淡路地区では $\Delta 26.8$ と同 19.8 ポイントの低下見通しとなる一方、神明地区では 18.2 と同 6.8 ポイントの改善見通しとなった。

前年同期比売上額判断 D. I. は $\Delta 13.0$ と前期比 2.2 ポイント改善、同収益判断 D. I. は $\Delta 7.8$ と同 10.4 ポイント改善した。なお、前期比売上額判断 D. I. は $\Delta 3.5$ と前期比 5.0 ポイント低下、同収益判断 D. I. は $\Delta 7.0$ と同 2.1 ポイント改善した。

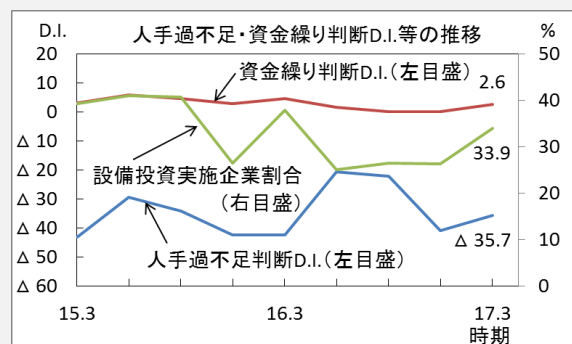
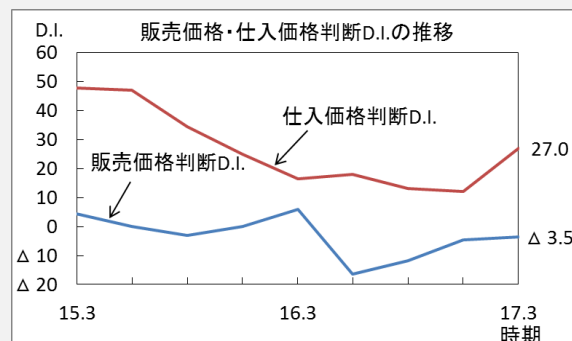
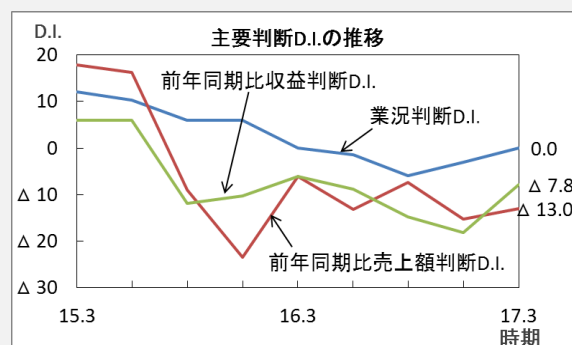
販売価格判断 D. I. は $\Delta 3.5$ と前期比 1.0 ポイント上昇、仕入価格判断 D. I. は 27.0 と同 14.9 ポイント上昇した。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 35.7$ （前期は $\Delta 40.9$ ）と前期比 5.2 ポイント改善し、人手不足感は一服した。

資金繰り判断 D. I. は 2.6 と前期比 2.6 ポイント改善した。地区別では、淡路地区において同 8.4 ポイント改善の 1.4 と、調査開始（2015 年 3 月期）以降初めてプラスに転じた。

設備投資実施企業割合は 33.9%と前期比 7.7 ポイント上昇した。

図 表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-3.0	0.0	-9.6
売上額(前期比)	1.5	-3.5	-20.9
売上額(前年同期比)	-15.2	-13.0	
収益(前期比)	-9.1	-7.0	-21.7
収益(前年同期比)	-18.2	-7.8	
販売価格(前期比)	-4.5	-3.5	-10.4
仕入価格(前期比)	12.1	27.0	27.0
人手過不足(過剰－不足)	-40.9	-35.7	-28.1
資金繰り(楽－苦)	0.0	2.6	3.5
設備投資割合(%)	26.2	33.9	30.0

業 況

今期の業況判断 D.I. は△10.3 と前期比 7.0 ポイント低下した。地区別では、淡路地区で△15.8 と前期比 15.8 ポイント低下した一方、神明地区で△5.0 と同 3.3 ポイント改善した。

来期の予想業況判断 D.I. は 2.6 と今期実績比 12.9 ポイント改善し、プラスに転じる見通しとなった。地区別では両地区で改善見通しとなっており、とりわけ淡路地区では 5.3 と同 21.1 ポイント改善しプラスに転じる見通しとなった。

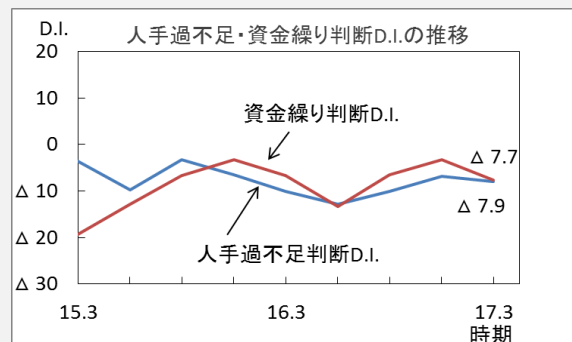
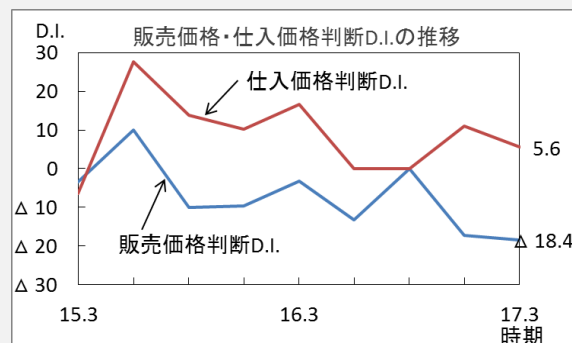
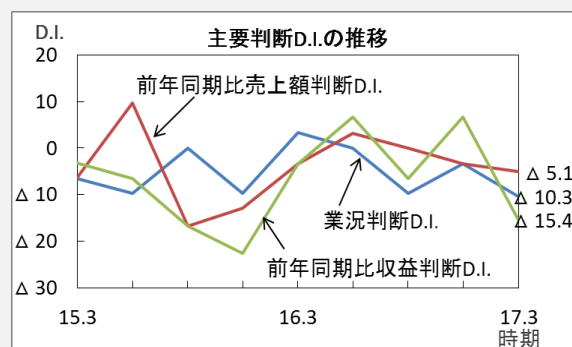
前年同期比売上額判断 D.I. は△5.1 と前期比 1.8 ポイント低下、同収益判断 D.I. は△15.4 と同 22.1 ポイント低下した。なお、前期比売上額判断 D.I. は△7.7 と前期比 1.0 ポイント低下、同収益判断 D.I. は△7.7 と同 7.7 ポイント低下した。

販売価格判断 D.I. は△18.4 と前期比 1.2 ポイント低下、仕入価格判断 D.I. は 5.6 と同 5.5 ポイント低下した。

人手過不足判断 D.I. は△7.9（前期は△6.9）と前期比 1.0 ポイント低下し、人手不足感は強まったものの、全業種の中では一番弱くなった。

資金繰り判断 D.I. は△7.7 と前期比 4.4 ポイント低下した。

図 表



	2016年 10～12月 (前期)	2017年 1～3月 (今期)	2017年 4～6月 (見通し)
業況	-3.3	-10.3	2.6
売上額(前期比)	-6.7	-7.7	2.6
売上額(前年同期比)	-3.3	-5.1	
収益(前期比)	0.0	-7.7	0.0
収益(前年同期比)	6.7	-15.4	
販売価格(前期比)	-17.2	-18.4	-13.2
仕入価格(前期比)	11.1	5.6	0.0
人手過不足(過剰ー不足)	-6.9	-7.9	-5.3
資金繰り(楽ー苦)	-3.3	-7.7	-10.3

主要D.I.時系列表

		実績										見通し
全業種		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	-10.8	-0.6	-6.4	-3.8	-8.0	-16.1	-12.1	-8.4	-9.8		
	業況(見通し)		-3.4	-7.3	-9.3	-12.3	-13.5	-13.0	-9.8	-22.5	-10.6	
	売上額(前期比)	-13.2	2.2	-0.6	-6.3	-16.1	-18.1	-12.1	-1.9	-15.3	-4.9	
	売上額(前年同期比)	-7.3	2.2	-5.4	-12.9	-6.8	-13.6	-12.1	-15.8	-7.9		
	収益(前期比)	-15.8	-5.7	-4.8	-8.2	-11.9	-16.5	-15.9	-5.5	-17.3	-6.6	
	収益(前年同期比)	-5.8	-4.7	-6.7	-11.6	-0.3	-13.7	-14.0	-14.1	-10.2		
	販売価格(前期比)	-2.3	7.9	3.2	-3.5	-1.9	-8.3	-1.0	-4.5	-0.4	-4.0	
	仕入価格(前期比)	24.8	41.8	25.1	16.1	10.4	13.4	12.4	15.6	24.8	19.1	
	人手過不足(過剰-不足)	-15.4	-17.1	-20.1	-23.0	-23.5	-19.0	-20.2	-20.1	-26.2	-24.1	
	資金繰り(楽-苦)	-9.4	-3.2	-1.0	-2.5	-2.9	-5.4	-5.1	-0.6	-3.4	-4.0	
	設備投資実施割合(%)	26.5	29.5	28.4	28.3	28.1	26.0	24.8	33.7	26.8	24.7	
製造業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	-13.5	-5.6	-22.2	-1.4	1.4	-11.1	-11.3	-9.9	-6.3		
	業況(見通し)		0.0	-5.6	-15.3	-8.2	-13.9	-11.1	-5.6	-21.1	-3.9	
	売上額(前期比)	-13.6	-5.6	-8.3	17.8	-12.5	-19.4	-15.5	4.2	-12.4	0.8	
	売上額(前年同期比)	-13.5	-11.1	-16.7	-2.7	0.0	-11.1	-11.3	-9.9	-3.1		
	収益(前期比)	-6.7	-9.7	-16.7	4.1	-13.9	-19.4	-18.3	1.4	-10.9	1.6	
	収益(前年同期比)	-4.1	-20.8	-9.7	-9.6	11.1	-13.9	-2.8	-14.1	-6.3		
	販売価格(前期比)	-5.4	1.4	4.2	-1.4	-6.9	-2.8	0.0	-7.0	2.3	-3.9	
	仕入価格(前期比)	36.5	44.4	23.6	26.0	15.3	19.4	15.5	22.5	38.0	29.7	
	人手過不足(過剰-不足)	-20.6	-12.5	-15.3	-23.3	-20.8	-12.5	-18.6	-8.6	-27.0	-23.0	
	資金繰り(楽-苦)	-9.5	-8.3	-6.9	2.7	-5.6	-6.9	-7.0	0.0	-7.8	-12.5	
	設備投資実施割合(%)	20.3	29.2	27.8	26.8	29.6	31.0	25.4	42.3	19.8	22.2	
卸売業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	-34.7	4.3	-4.3	-10.6	-13.6	-26.7	-17.8	-9.1	-6.8		
	業況(見通し)		-12.2	-19.6	-6.5	-19.1	-18.2	-24.4	-6.7	-27.3	-2.7	
	売上額(前期比)	-28.5	32.6	10.9	-19.1	-18.2	-25.0	-2.2	-2.3	-29.7	5.4	
	売上額(前年同期比)	-24.4	19.6	10.9	-6.4	9.1	-22.2	-2.2	-6.8	-8.1		
	収益(前期比)	-40.8	21.7	2.2	-10.6	2.3	-22.7	-15.6	-4.5	-27.0	6.8	
	収益(前年同期比)	-20.3	10.9	6.5	8.5	15.9	-28.9	-20.0	4.5	-4.1		
	販売価格(前期比)	8.2	34.8	23.9	4.3	9.1	-13.3	11.1	-4.5	-1.4	-1.4	
	仕入価格(前期比)	40.8	52.2	43.5	12.8	6.8	15.6	24.4	4.5	14.9	2.7	
	人手過不足(過剰-不足)	8.3	-13.0	-15.2	-12.8	-15.9	-20.5	-20.0	-4.5	-13.7	-20.5	
	資金繰り(楽-苦)	-6.1	8.7	10.9	-2.1	4.5	4.4	2.2	4.5	6.8	8.1	
	設備投資実施割合(%)	18.3	17.4	19.6	23.4	20.5	18.2	17.8	29.5	26.4	22.5	
小売業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	-23.9	-25.5	-31.9	-21.3	-25.0	-44.7	-29.8	-19.1	-20.9		
	業況(見通し)		-19.5	-36.2	-34.0	-31.9	-35.4	-38.3	-25.5	-31.9	-29.1	
	売上額(前期比)	-23.9	-21.3	-19.1	-19.1	-33.3	-40.4	-29.8	-17.0	-22.1	-15.3	
	売上額(前年同期比)	-15.2	-25.5	-25.5	-42.6	-37.5	-31.9	-36.2	-48.9	-16.3		
	収益(前期比)	-15.2	-29.8	-8.5	-17.0	-18.8	-36.2	-29.8	-19.1	-32.6	-21.2	
	収益(前年同期比)	-15.2	-47.9	-51.3	-38.3	-18.8	-25.5	-25.5	-42.6	-25.6		
	販売価格(前期比)	-17.3	4.3	-2.1	-14.9	-12.5	-6.4	-4.3	4.3	8.1	5.9	
	仕入価格(前期比)	6.5	31.9	17.0	-2.1	0.0	2.1	6.4	21.3	22.4	15.3	
	人手過不足(過剰-不足)	-8.7	-2.1	-8.5	-4.3	-16.7	-12.8	-17.4	-21.3	-19.8	-21.4	
	資金繰り(楽-苦)	-13.1	-6.4	-6.4	-8.5	0.0	-12.8	-12.8	-6.4	-9.3	-7.1	
	設備投資実施割合(%)	23.9	19.6	17.4	26.2	19.1	17.8	15.2	30.4	20.3	20.5	
サービス業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	1.9	15.4	19.2	5.8	-18.0	-17.0	-1.9	-5.7	-19.3		
	業況(見通し)		1.9	1.9	1.9	-13.5	-10.0	7.5	-5.7	-18.9	-15.9	
	売上額(前期比)	0.0	-1.9	28.8	0.0	-18.0	-5.7	-1.9	1.9	-19.3	5.7	
	売上額(前年同期比)	-1.9	7.7	26.9	7.7	-4.0	-3.8	-13.2	-9.4	-1.1		
	収益(前期比)	-11.5	-9.6	19.2	-7.7	-22.0	-5.7	-13.2	-1.9	-21.6	1.1	
	収益(前年同期比)	1.9	5.8	13.5	-3.8	-4.0	-7.7	-17.0	-11.3	-6.9		
	販売価格(前期比)	0.0	5.8	1.9	-3.8	-4.0	0.0	3.8	-1.9	0.0	-3.4	
	仕入価格(前期比)	23.5	39.2	14.0	13.5	4.2	15.1	9.4	17.3	21.2	18.8	
	人手過不足(過剰-不足)	-25.0	-28.8	-32.7	-32.7	-24.0	-34.0	-28.3	-28.3	-37.5	-34.1	
	資金繰り(楽-苦)	-11.5	-9.6	-3.8	-11.5	-16.0	-9.4	-7.5	0.0	-5.7	-5.7	
	設備投資実施割合(%)	30.6	35.3	31.4	38.5	28.0	34.0	36.5	37.7	34.1	27.1	
建設業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	12.0	10.3	6.0	5.9	0.0	-1.5	-5.9	-3.0	0.0		
	業況(見通し)		6.0	11.9	1.5	0.0	-6.0	-10.3	-7.4	-21.2	-9.6	
	売上額(前期比)	5.9	7.4	-9.1	-13.2	-13.4	-17.6	-14.7	1.5	-3.5	-20.9	
	売上額(前年同期比)	17.9	16.2	-9.0	-23.5	-6.1	-13.2	-7.4	-15.2	-13.0		
	収益(前期比)	-4.4	-2.9	-12.1	-10.3	-9.0	-14.7	-10.3	-9.1	-7.0	-21.7	
	収益(前年同期比)	5.9	5.9	-11.9	-10.3	-6.1	-8.8	-14.7	-18.2	-7.8		
	販売価格(前期比)	4.4	0.0	-3.0	0.0	6.0	-16.4	-11.8	-4.5	-3.5	-10.4	
	仕入価格(前期比)	47.7	47.0	34.4	25.0	16.4	17.9	13.2	12.1	27.0	27.0	
	人手過不足(過剰-不足)	-43.3	-29.4	-34.3	-42.6	-42.4	-20.6	-22.1	-40.9	-35.7	-28.1	
	資金繰り(楽-苦)	3.0	5.9	4.5	2.9	4.5	1.5	0.0	0.0	2.6	3.5	
	設備投資実施割合(%)	39.3	40.9	40.6	26.5	37.9	25.0	26.5	26.2	33.9	30.0	
不動産業		2015年3月期	2015年6月期	2015年9月期	2015年12月期	2016年3月期	2016年6月期	2016年9月期	2016年12月期	2017年3月期	2017年6月期	
	業況(実績)	-6.5	-9.7	0.0	-9.7	3.3	0.0	-9.7	-3.3	-10.3		
	業況(見通し)		3.2	-6.5	-6.7	-6.5	6.7	-3.2	-12.9	-13.3	2.6	
	売上額(前期比)	-19.3	6.5	-3.3	-19.4	3.3	6.5	-3.2	-6.7	-7.7	2.6	
	売上額(前年同期比)	-6.4	9.7	-16.7	-12.9	-3.3	3.2	0.0	-3.3	-5.1		
	収益(前期比)	-16.1	0.0	-6.7	-16.1	-6.7	6.5	-6.5	0.0	-7.7	0.0	
	収益(前年同期比)	-3.2	-6.5	-16.7	-22.6	-3.3	6.7	-6.5	6.7	-15.4		
	販売価格(前期比)	-3.4	10.0	-10.0	-9.7	-3.3	-13.3	0.0	-17.2	-18.4	-13.2	
	仕入価格(前期比)	-6.5	27.6	13.8	10.3	16.7	0.0	0.0	11.1	5.6	0.0	
	人手過不足(過剰-不足)	-3.5	-9.7	-3.3	-6.5	-10.0	-12.9	-10.0	-6.9	-7.9	-5.3	
	資金繰り(楽-苦)	-19.4	-12.9	-6.7	-3.2	-6.7	-13.3	-6.5	-3.3	-7.7	-10.3	

特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

問 1 女性の割合と職務分野

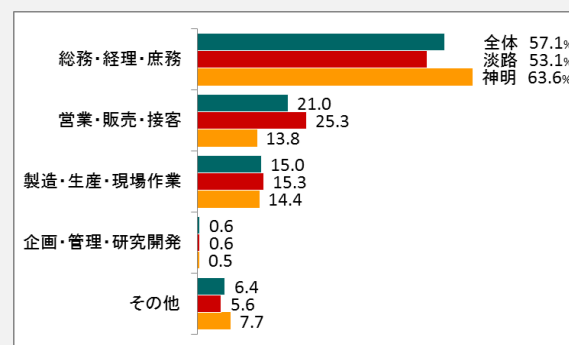
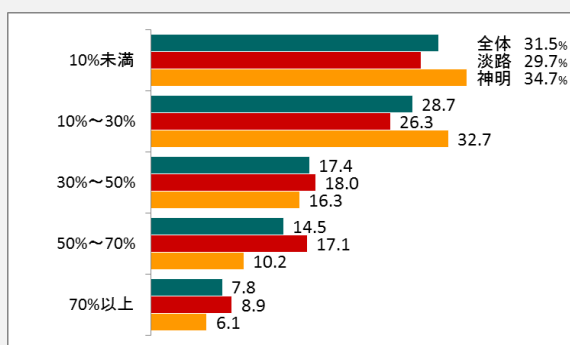
従業員（非正規含む）に占める女性の割合については、「10%未満（31.5%）」「10%以上 30%未満（28.7%）」で約 6 割を占めた。

地区別では、淡路地区（50%以上：26.0%）が、神明地区（50%以上：16.3%）より女性の比率が高い企業が多く見られた。

業種別では、小売業、サービス業で相対的に女性の比率が高い企業が多く見られた。一方、建設業では「10%未満」が 47.4%と業種間に差が見られた。

女性が最も活躍している職務分野については、「総務・経理・庶務」が 57.1%と 6 割近くを占め、「営業・販売・接客」が 21.0%、「製造・生産・現場作業」が 15.0%と続いた。

業種別では、小売業で「営業・販売・接客」が 54.3%と、6 業種の中で唯一過半数を占めた。一方、製造業、卸売業、建設業、不動産業では「総務・経理・庶務」が過半数を占めるなど、業種間に差が見られた。



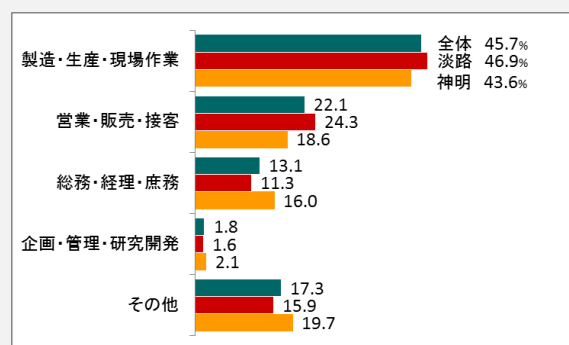
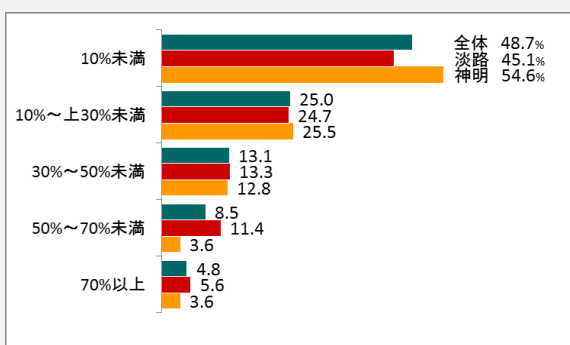
問 2 高齢者の割合と職務分野

高齢者（ここでは 60 歳以上を想定）の割合については、「10%未満（48.7%）」「10%以上 30%未満（25.0%）」で約 7 割を占めた。

従業員規模別では 1～4 人の階層で「70%以上」が 10.0%、業種別では不動産業で「70%以上」が 21.1%と高く、高齢化が進んでいる様子がうかがえる。

高齢者が最も活躍している職務分野については、「製造・生産・現場作業」が 45.7%と最も多く、以下、「営業・販売・接客」が 22.1%、「総務・経理・庶務」が 13.1%と続いた。

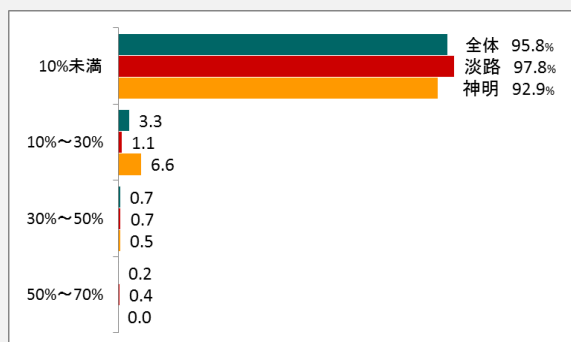
業種別では、製造業、建設業で「製造・生産・現場作業」が過半数を占めた。



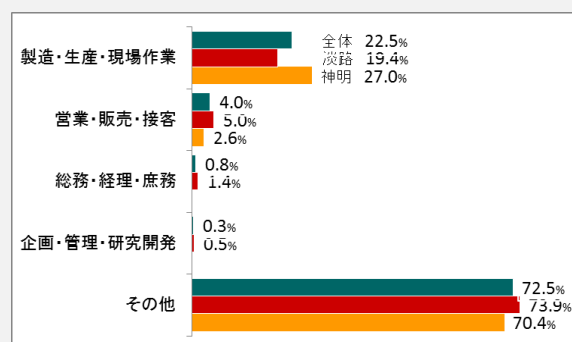
特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

問 3 外国人の割合と職務分野

外国人の割合については、「10%未満」が95.8%となり、大半の企業で外国人の活用が進んでいない状況がうかがえる。地区別、従業員規模別、業種別すべての階層で約9割の企業が10%未満と回答した。

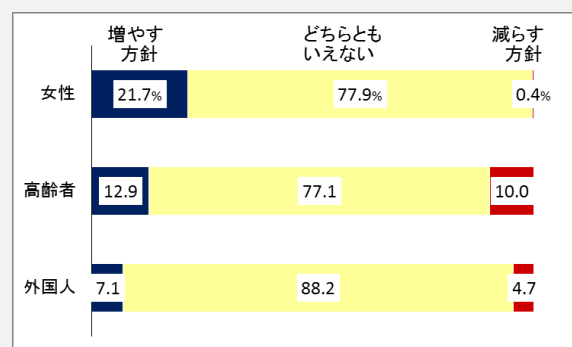


外国人が最も活躍している職務分野については、「製造・生産・現場作業」が22.5%と最も多く、以下、「営業・販売・接客」が4.0%と続いた。業種別では、製造業、卸売業で「製造・生産・現場作業」が多い一方で、サービス業で「営業・販売・接客」が多い傾向が見られた。



問 4 今後の人材活用策

女性、高齢者、外国人の活躍推進にかかる今後の考え方については、「どちらともいえない」が女性（77.9%）、高齢者（77.1%）、外国人（88.2%）とも最も高かった。ただし、女性については「増やす方針」が21.7%に対し、「減らす方針」が0.4%と、今後活躍が広がっていくことが期待できる。一方、高齢者では「増やす方針」が12.9%、「減らす方針」が10.0%、外国人では「増やす方針」が7.1%、「減らす方針」が4.7%と、両社とも明確な方針は見られなかった。業種別に見ると、女性については製造業、卸売業で「増やす方針」がそれぞれ27.2%、32.9%と高かった。また、外国人については製造業で「増やす方針」が11.8%と高かった。

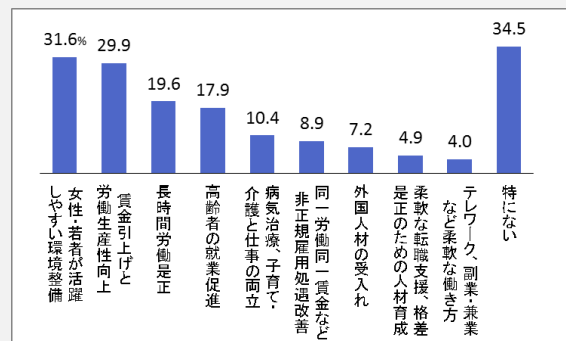


特別調査 人手不足下における中小企業の人材活用策について

問5 働き方改革への取り組み

「働き方改革実現会議」で検討されている課題に関して、今後注力しようとしている取り組みについては、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」が31.6%と最も高く、以下、「賃金引上げと労働生産性向上」が29.9%、「長時間労働是正」が19.6%、「高齢者の就業促進」が17.9%と続いた。

業種別では製造業（40.3%）と建設業（37.4%）で「賃金引上げと労働生産性向上」の割合が高かった。



特別調査

人手不足下における中小企業の人材活用策について

【問1】少子高齢化社会の進展にともない、企業経営上の課題の一つとして人手不足がクローズアップされています。こうしたなか、女性の活躍推進が期待されていますが、貴社の従業員数に占める女性の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、女性が最も活躍してらっしゃる職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位:%)

		女性の割合					最も活躍している職務分野				
		10%未満	10%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上 70%未満	70%以上	営業・ 販売・ 接客	総務・ 経理・ 庶務	企画・ 管理・ 研究開発	製造・ 生産・ 現場作業	その他
全体		31.5	28.7	17.4	14.5	7.8	21.0	57.1	0.6	15.0	6.4
地区別	淡路地区	29.7	26.3	18.0	17.1	8.9	25.3	53.1	0.6	15.3	5.6
	神明地区	34.7	32.7	16.3	10.2	6.1	13.8	63.6	0.5	14.4	7.7
規模別	1～4人	30.3	15.9	21.4	20.4	11.9	29.4	49.0	0.0	11.3	10.3
	5～9人	34.6	30.7	20.5	9.4	4.7	19.0	57.9	1.6	15.9	5.6
	10～19人	29.6	42.9	12.2	9.2	6.1	14.4	67.0	1.0	15.5	2.1
	20～29人	31.3	37.5	9.4	12.5	9.4	12.1	54.5	0.0	24.2	9.1
	30～39人	40.9	27.3	9.1	18.2	4.5	9.1	72.7	0.0	18.2	0.0
	40～49人	33.3	50.0	8.3	8.3	0.0	8.3	75.0	0.0	16.7	0.0
	50～99人	29.4	47.1	17.6	0.0	5.9	11.8	64.7	0.0	17.6	5.9
	100～199人	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0
	200～300人	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	300人～	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	32.3	27.6	19.7	14.2	6.3	6.5	50.8	0.8	35.5	6.5
	卸売業	25.0	30.6	22.2	15.3	6.9	15.3	59.7	0.0	20.8	4.2
	小売業	18.8	24.7	18.8	27.1	10.6	54.3	33.3	1.2	8.6	2.5
	サービス業	26.7	19.8	19.8	19.8	14.0	35.6	43.7	0.0	10.3	10.3
	建設業	47.4	41.2	7.9	2.6	0.9	5.4	86.6	0.9	1.8	5.4
	不動産業	33.3	20.5	20.5	10.3	15.4	20.5	66.7	0.0	0.0	12.8

【問2】問1と同様、高齢者（ここでは60歳以上を想定）の活躍推進について、貴社の従業員数に占める高齢者の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、高齢者が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

（単位：％）

		高齢者の割合					最も活躍している職務分野				
		10%未満	10%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上 70%未満	70%以上	営業・ 販売・ 接客	総務・ 経理・ 庶務	企画・ 管理・ 研究開発	製造・ 生産・ 現場作業	その他
全体		48.7	25.0	13.1	8.5	4.8	22.1	13.1	1.8	45.7	17.3
地区別	淡路地区	45.1	24.7	13.3	11.4	5.6	24.3	11.3	1.6	46.9	15.9
	神明地区	54.6	25.5	12.8	3.6	3.6	18.6	16.0	2.1	43.6	19.7
規模別	1～4人	43.0	19.0	14.5	13.5	10.0	26.8	15.8	1.1	36.1	20.2
	5～9人	46.8	27.4	12.9	10.5	2.4	20.0	15.0	0.8	45.8	18.3
	10～19人	54.1	28.6	14.3	2.0	1.0	17.7	9.4	2.1	54.2	16.7
	20～29人	57.6	27.3	12.1	0.0	3.0	15.2	6.1	0.0	60.6	18.2
	30～39人	59.1	31.8	4.5	4.5	0.0	22.7	9.1	4.5	54.5	9.1
	40～49人	58.3	25.0	16.7	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	58.3	8.3
	50～99人	47.1	47.1	5.9	0.0	0.0	23.5	17.6	11.8	41.2	5.9
	100～199人	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0	33.3	0.0
	200～300人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	300人～	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
業種別	製造業	44.4	32.5	12.7	7.1	3.2	9.1	7.4	2.5	69.4	11.6
	卸売業	49.3	19.2	17.8	9.6	4.1	23.9	21.1	1.4	38.0	15.5
	小売業	45.2	21.4	9.5	15.5	8.3	43.0	15.2	2.5	27.8	11.4
	サービス業	49.4	24.7	15.3	10.6	0.0	30.5	7.3	0.0	39.0	23.2
	建設業	50.0	30.7	12.3	4.4	2.6	12.1	14.0	1.9	55.1	16.8
	不動産業	63.2	2.6	10.5	2.6	21.1	27.0	21.6	2.7	8.1	40.5

【問3】問1と同様、外国人の活躍推進について、貴社の従業員数に占める外国人の割合（非正規含む）はおよそどのくらいですか。また現在、外国人が最も活躍している職務はどのような分野ですか。あてはまるものを以下の1～5、6～0よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

（単位：％）

		外国人の割合					最も活躍している職務分野				
		10%未満	10%以上 30%未満	30%以上 50%未満	50%以上 70%未満	70%以上	営業・ 販売・ 接客	総務・ 経理・ 庶務	企画・ 管理・ 研究開発	製造・ 生産・ 現場作業	その他
全体		95.8	3.3	0.7	0.2	0.0	4.0	0.8	0.3	22.5	72.5
地区別	淡路地区	97.8	1.1	0.7	0.4	0.0	5.0	1.4	0.5	19.4	73.9
	神明地区	92.9	6.6	0.5	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	27.0	70.4
規模別	1～4人	98.3	1.7	0.0	0.0	0.0	4.4	1.5	0.7	20.6	72.8
	5～9人	96.2	1.9	1.0	1.0	0.0	4.8	0.0	0.0	20.2	75.0
	10～19人	91.5	6.1	2.4	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	22.2	73.6
	20～29人	96.6	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.2	80.8
	30～39人	94.4	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	35.3	58.8
	40～49人	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	72.7
	50～99人	88.2	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	29.4	64.7
	100～199人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	60.0	20.0
	200～300人	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	300人～	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
業種別	製造業	89.4	9.7	0.9	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	32.4	66.7
	卸売業	93.8	3.1	1.5	1.5	0.0	1.9	0.0	0.0	30.2	67.9
	小売業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.5	1.8	0.0	18.2	74.5
	サービス業	98.7	1.3	0.0	0.0	0.0	10.6	1.5	0.0	18.2	69.7
	建設業	97.9	1.1	1.1	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	18.2	80.3
	不動産業	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	3.1	3.1	3.1	84.4

【問4】女性、高齢者、外国人の活躍推進それぞれについて、貴社では、今後、どのようにお考えですか。あてはまるものを以下の1～9よりそれぞれ1つずつ選んでお答えください。

(単位:%)

		女性			高齢者			外国人		
		増やす方針	どちらともいえない	減らす方針	増やす方針	どちらともいえない	減らす方針	増やす方針	どちらともいえない	減らす方針
全体		21.7	77.9	0.4	12.9	77.1	10.0	7.1	88.2	4.7
地区別	淡路地区	20.0	79.4	0.6	10.8	78.2	11.1	6.4	88.7	5.0
	神明地区	24.5	75.5	0.0	16.5	75.3	8.2	8.2	87.5	4.3
規模別	1～4人	13.6	85.4	1.0	8.2	85.2	6.6	1.1	94.0	4.9
	5～9人	22.6	77.4	0.0	13.1	72.1	14.8	4.8	90.5	4.8
	10～19人	22.9	77.1	0.0	9.5	77.9	12.6	11.5	83.9	4.6
	20～29人	42.4	57.6	0.0	27.3	66.7	6.1	12.9	83.9	3.2
	30～39人	31.8	68.2	0.0	13.6	77.3	9.1	11.1	83.3	5.6
	40～49人	33.3	66.7	0.0	33.3	41.7	25.0	8.3	91.7	0.0
	50～99人	11.8	88.2	0.0	12.5	81.3	6.3	29.4	64.7	5.9
	100～199人	66.7	33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	33.3	50.0	16.7
	200～300人	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	300人～	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
業種別	製造業	27.2	72.0	0.8	14.6	72.4	13.0	11.8	84.0	4.2
	卸売業	32.9	65.7	1.4	18.8	72.5	8.7	9.4	87.5	3.1
	小売業	19.5	80.5	0.0	8.4	84.3	7.2	4.3	90.0	5.7
	サービス業	15.1	84.9	0.0	15.5	72.6	11.9	6.6	84.2	9.2
	建設業	16.5	83.5	0.0	9.7	82.3	8.0	5.0	93.1	2.0
	不動産業	18.4	81.6	0.0	10.5	78.9	10.5	0.0	94.4	5.6

【問5】政府は「働き方改革実現会議」において、以下の9項目を課題として検討しています。これら9項目のうち、貴社が注力しようと考えているものを以下の1～9より3つ以内で選んでお答えください。

(単位:%)

		同一労働 同一賃金 など非正 規雇用 処遇改善	賃金引上 と 労働生産 性向上	長時間 労働是正	柔軟な転 職支援、 格差是正 のための 人材育成	テレワー ク、副業・ 兼業など 柔軟な 働き方	女性・ 若者が 活躍しや すい環境 整備	高齢者の 就業促進	病気治療、 子育て・ 介護と 仕事の 両立	外国人材 の受入れ	特になし
	全体	8.9	29.9	19.6	4.9	4.0	31.6	17.9	10.4	7.2	34.5
地区別	淡路地区	7.9	25.1	16.6	4.2	4.8	35.3	16.9	11.2	6.6	37.8
	神明地区	10.5	38.0	24.5	6.0	2.5	25.5	19.5	9.0	8.0	29.0
規模別	1～4人	10.8	15.7	10.3	2.9	6.9	22.1	14.2	8.3	2.0	52.5
	5～9人	7.8	30.2	15.5	5.4	2.3	40.3	17.8	10.1	6.2	31.0
	10～19人	8.1	43.4	31.3	4.0	2.0	33.3	18.2	13.1	15.2	20.2
	20～29人	3.0	39.4	27.3	9.1	0.0	60.6	21.2	15.2	12.1	18.2
	30～39人	21.7	47.8	39.1	4.3	0.0	26.1	21.7	0.0	13.0	8.7
	40～49人	0.0	58.3	8.3	16.7	8.3	16.7	33.3	8.3	8.3	25.0
	50～99人	0.0	47.1	35.3	11.8	0.0	35.3	17.6	11.8	11.8	17.6
	100～199人	16.7	33.3	66.7	16.7	16.7	33.3	66.7	16.7	0.0	0.0
	200～300人	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	300人～	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
業種別	製造業	10.1	40.3	24.8	3.9	3.1	34.1	24.0	7.8	10.9	28.7
	卸売業	12.2	20.3	16.2	4.1	4.1	33.8	24.3	10.8	12.2	35.1
	小売業	7.0	22.1	14.0	1.2	3.5	32.6	11.6	8.1	2.3	40.7
	サービス業	8.0	26.1	22.7	2.3	4.5	30.7	15.9	14.8	3.4	31.8
	建設業	10.4	37.4	20.0	12.2	1.7	28.7	15.7	9.6	8.7	30.4
	不動産業	0.0	17.9	12.8	2.6	12.8	28.2	10.3	15.4	0.0	56.4

▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼お客様の声▼▼▼▼▼▼▼▼▼▼

○季節・気候・海流の変化に伴い漁獲量が上下するため、売上が安定しない。売上増加を目指すのではなく、利益率を重視した経営を目指しているが、繁忙期と閑散期の人の使い方が課題と考えている。

(製造業 南あわじ市)

○日本でも季節イベントとしてハロウィンが定着。年々規模が拡大しており、受注増加により業況は好調である。

(製造業 神戸市)

○建設業者への売上が減少する中、取扱品目の拡充により販売先ターゲットの増加に繋げている。その結果、17年1～3月期は増収増益となっている。(卸売業 洲本市)

○神戸開港150周年の関連イベントが続いており、神戸港の注目度が増している。一過性のイベントで終わることなく、物流拠点としての注目、発展も期待したい。

(卸売業 神戸市)

○地域の人口減少が著しく、ネット販売主体の営業となってきた。SNS等を活用し広報活動を展開しているが、検索サイトにおいて検索上位に上がるSEO対策について専門家の指導を仰ぎたく、ミラサポ等からの支援を検討中。

(小売業 洲本市)

○冬期は売上が減少する時期であるが、付加価値の高い商品の販売に注力した結果、利益率は改善した。4月以降、新入職員6名入社し、営業を強化する予定。

(小売業 明石市)

○経営者はグループホームとサ高住を営み、かつ1年前よりケアマネジャーの業務も兼任している。業界には精通しているが、介護サービスには全てケアマネジャーの指示が必要であり、質・量とも業務の煩雑さを痛感している。

(サービス業 淡路市)

○本業における需要が減少しているため、関連サービスによる手数料収入増強を図っている。

(建設業 洲本市)

○人手不足に悩まされており、下請けの確保にも影響している。工賃が増加傾向にあり、利益確保が厳しくなっている。

(建設業 西宮市)

○入居状況は満室が続き、売上は安定しているが、マイホーム購入による退去を考えている入居者が2～3世帯あるため、今後空室が発生する可能性があり、新たに入居者の募集をかける必要が出てくるように思われる。

(不動産業 洲本市)

○商品土地の不足が続いており、情報収集に力を入れている。手持ち物件の早期売却にも注力しているが、土地のみの販売では進捗が遅い傾向にある。(不動産業 明石市)





かわら版

◇個人向け信託商品の取扱い開始について

当金庫では、お客さまのさまざまなニーズにお応えするため、4月3日より、しんきん相続信託「こころのバトン」と、しんきん暦年信託「こころのリボン」の取り扱いを開始しました。

二つの信託商品はともに、信託の仕組みを活用し、簡単な手続きで大切なご家族へ財産を引き継げるようにした商品です。

①しんきん相続信託「こころのバトン」

お客さま（ご契約者）が信金中金に金銭を信託のうえ、ご自分の将来の生活資金として定期的な受取りや、ご家族にのこす金額および受取方法をあらかじめ指定することができます。お客さまに万が一のことがあったとき、ご家族が安心して生活できるよう、ご自身の資金の継承についてご準備いただく商品です。



②しんきん暦年信託「こころのリボン」

お客さま（ご契約者）がご家族への贈与をご希望される場合、信金中金に金銭を信託のうえ、毎年ご指定のご家族への贈与手続きをサポートする商品です。

なお、本商品は現在のところ、本店営業部のみのお取扱いとなっておりますが、パンフレットを全店舗でご用意しております。

◇うみぞら映画祭2017 今年も淡路島 大浜海水浴場に「海の映画館」！！

○時期： 2017年5月19日（金）～21日（日）

○内容： 大浜海水浴場の海の上に巨大なスクリーンを浮かべ、砂浜から映画を観る「海の映画館」のある映画祭。同時に、淡路島グルメを堪能できる「食のイベント」ガガガSPや地元アーティストによる「音楽イベント」も開催。

○詳しい情報は「うみぞら映画祭」で検索してください。チケットは淡路信用金庫各支店、洲本観光案内所（洲本バスセンター内）、チケットぴあ（4/19より）で販売しております。

【連絡・問い合わせ先】
淡路信用金庫 業務部
（担当） 柏木・眞野
TEL：0799-22-1020